

第1回大船渡市津波避難対策検討会議 会議録

1 日 時 令和6年7月9日(火) 13時30分から15時30分まで

2 場 所 大船渡市防災センター 防災研修室

3 出席者 別添委員名簿のとおり

4 次 第

1 開会

2 委員等紹介

3 委嘱状交付

4 市長あいさつ

5 協議

(1) 委員長及び副委員長の指名について

(2) 自動車避難の課題について

(3) 津波避難の前提条件等の確認について

(4) 今後のスケジュールについて

6 その他

7 閉会

5 議事要旨

(1) 協議

ア 委員長及び副委員長の指名について

- ・委員長に杉安和也委員、副院長に佐藤惟司委員を選任した。

イ 自動車避難の課題について

(ア) 事務局から、資料1に基づき、説明を行った。

(イ) 委員から下記のとおり意見等があった。

- ・市民だけでなく警察、消防職員の犠牲者ゼロにすることを踏まえると、消防団などが浸水区域で長時間交通整理に従事することは難しいと考える。
- ・事前に避難方法や避難場所を周知徹底していくことが重要であると考え。
- ・あくまで徒歩避難が原則だが、それぞれの事情による車避難の必要性も考えなければならず、車避難誘導の際には、避難先の山側に避難できる場所に駐車場があるのかが課題であると考え。
- ・事業所が参加できるような市内全域での避難訓練があってもよいのではと考える。
- ・車避難の必要のない人による渋滞を防ぐための教育や周知が必要だと考える。
- ・要支援者が避難できるよう、支援者として近くにいる人が助けるような地域づくりが必要だと考える。
- ・事業所と協定を結び非常時に駐車場に車を置けるようにするなど、車を置いて避難する際の駐車スペースを確保できるよう対策すべきであると考え。
- ・避難において、山側の駐車スペースのキャパシティや避難先での駐車時間を含めた避難完了時間などの把握が必要であると考え。

- ・ 徒歩避難と車避難が同じ場所に向かう場合、十分なキャパシティーを持っていないのが現状であり、徒歩で避難する人と車で避難する人を誘導する方向は同じなのか、車避難のルールの検討が必要だと考える。
- ・ 場合によっては、車を乗り捨て、徒歩避難に切り替えることを呼びかける必要があり、道路に余力があるなど、実際に車を乗り捨てられる環境になっているか検証が必要な部分であると考ええる。
- ・ 自動車避難を検討する際は、いかに車の通行を流し続けるかは大事なことであり、最短避難経路を示すだけでなく、移動し続けられる迂回路情報を認知しやすくするかといった観点も必要ではないかと考える。

ウ 津波避難の前提条件等について

- (ア) 事務局から、資料1に基づき、説明を行った。
- (イ) 質疑等はなかった。

エ 今後のスケジュールについて

- (ア) 事務局から資料2に基づき、説明を行った。
- (イ) 質疑等はなかった。

(2) その他

- ・ 質疑等はなかった。